

第 240 回 狛江市行財政改革推進本部会議会議録

- 1 日 時 平成 24 年 2 月 28 日（火）午前 9 時～9 時 10 分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 本部長 矢野市長
副本部長 松原副市長
副本部長 本橋教育長
本部員 水野企画財政部長
本部員 小川総務部長
本部員 石森市民生活部長
本部員 小林福祉保健部長
本部員 平林児童青少年部長
本部員 松本建設環境部長
本部員 森田議会事務局長
本部員 小泉教育部長
事務局 松坂政策室長
銀林政策室企画法制担当主任
- 4 欠席者 な し
- 5 議 題 1. 施策レポートの修正について
2. その他

6 会議概要

本部長 これより第240回行財政改革推進本部会議を開催します。それでは、議題1について事務局より説明をお願いします。

事務局 施策レポートに関しては、外部評価委員会の提言を受け、施策レポート原案から修正を行うとともに、提言に対する市の対応方針について、政策室と関係部課で調整を進めてきました。ここで一定の整理ができたことから、本部にお諮りするものです。

それでは、施策レポート原案から修正・追記のあった部分を中心に説明します。まず、総論として施策レポートの位置付けや構成、外部評価に関する内容、市全体に関する提言への対応方針を記載しています。特に、委員会より要請があったところとして、施策レポートの位置付けについては、表も交えるなど従来にも増して丁寧に説明するよう配慮しています。

次に、本編について「災害に強いまち」を例に説明すると、■現況と課題内に「計画策定時（H22.2）からの状況の変化」を追加しています。次に、■施策体系内に「施策の構成」を追加しています。次に事業説明内に円グラフを用いた「コスト内訳」を追加しています。次に、その他基礎的な取組みとして、いわゆる実施計画事業以外の基礎的な事業についても説明を加えています。施策の成果については、外部評価委員会において議論のあった事項や施策のなかで市としても特にポイントと捉えている事業や取組みについて、施策の成果の視点から記載を加えています。この項目では、公共施設の耐震化や消防、道路の拡幅について追記しています。また、「外部評価委員会の提言に対する市の対応方針」については、政策調整会議において方針を確認した各事項を整理したものになっています。同様に、「子育て・子育て支援体制の充実」と「高齢者福祉の充実」も適宜追記・修正を加えています。

次に、「市全体に関する提言への対応方針」について、行財政改革に関するものが多いことから、本部にお諮りするものです。基本的には、市の考え方を示したうえで対応していく旨記載しており、新たなしくみや制度を構築するなど、これまでの運用を転換するものではありませんが、「組織のメカニズム」と「部門の目標」については、ここで一定の議論をお願いできればと考えています。

委員会の提言内容としては、マネジメントの観点から毎年度の部門別目標が必要であると

ということです。これに関しては、現在の狛江市における組織としての目標等に関連するしくみとして、市長の予算編成方針・所信表明（毎年度）、基本計画の施策目標（平成 26 年度まで）、行政評価制度における部の取組み方針（平成 26 年度まで）、人事評価制度において設定している組織方針（毎年度）の 4 点があり、それぞれが別個に運用されている状況です。ここで、行政活動をさらに効率的かつ効果的に行っていくためには、これらの目標や方針同士が連鎖して機能していくよう、改めて 4 点の関係を整理することが必要です。事務局としては、提言を受け、市の組織形態や基本計画の体系等を踏まえて全体の関係性を改めて整理していきますが、その前段として、職員課とも調整し、既存の人事評価制度上の組織方針（毎年度）について、部の取組み方針など施策の推進に関する目標・方針との関係を明確にし、年度の組織方針として 24 年度から試行していきたいと考えています。

説明は以上です。

本部長 質問・指摘等ありますか。

本部員 施策レポート案の公共施設の耐震化の工程において、和泉児童館と合築を予定しているのは宮前保育園であり、岩戸地域センターと合築を予定しているのは消防団分団詰所です。また、消防事務について稲城市を除く多摩地域は東京消防庁への事務委託ですが、23 区は別の形態であったと認識しています。

事務局 前段の点は修正します。後段の点はその形態について確認のうえ、表現を検討します。

本部長 それでは、各部にて確認のうえ、他に意見等あれば 3 月 5 日（月）午前中までに政策室に寄せてください。

以上で、第 240 回行財政改革推進本部会議を終了します。